

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**(仮称)1・2・3座間店**

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
 評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.32</b>					<b>2.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.0</b>	0.21	-	-			<b>1.0</b>
<b>1.1 騒音</b>		-	-	-	-			
1 室内騒音レベル		-	-	-	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>1.0</b>	0.67	-	-			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	-	-			
2 界壁遮音性能		-	-	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.46	-	-			<b>2.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.40	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.23	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		-	-	-	-			-
<b>3.1 昼光利用</b>		-	-	-	-			
1 昼光率		-	-	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		-	-	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		-	-	3.0	-			
<b>3.4 照明制御</b>		-	-	3.0	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.3</b>	0.33	-	-			<b>3.3</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	建築資材は全てFを使用	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-			
2 自然換気性能		-	-	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>2.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			<b>3.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	-	-			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31	-	-			<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>2.7</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			3.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高・集会場5.05m、駐車場3.2m	2.0	0.45	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	空間のプランニングの自由度が高い	5.0	0.55	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		駐車場部分の割合が大きい	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.07	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.26	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率エアコン、高効率照明器具の採用	5.0	0.40	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.26	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22	-	-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	建築資材は全てF を使用	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤		4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		敷地内緑地	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場、駐輪場の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		-	-	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	1.00	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	